

## 令和5年度嶺北地域アクションプランの修正について

嶺 北 地 域 本 部

令和5年2月7日（火）



# 地域アクションプランの令和5年度の追加・削除等(予定項目)

## 地域アクションプランへの支援の方向性

新規事業の掘り起こしや既存事業が抱える課題の解決を図りながら、地域アクションプランの実現に向けて、産業振興推進地域本部を中心に取り組みを推進していく。

- (1) 新規事業の掘り起こし  
発掘支援型アドバイザーと連携して、地域アクションプランへの位置付けを目指す取り組みを掘り起こし
- (2) 課題解決に向けた支援
  - ①課題解決型アドバイザーと連携して、個別課題の解決を支援
  - ②課題一貫支援型アドバイザーと連携して、地域への経済波及効果大きい案件に対し、全体的な課題の整理・分析及び解決策の検討を一貫して支援

## 地域アクションプランの増減 (▲1)

- (1) 追加(新規) : 3件
  - 仁淀川町滞在交流型観光の推進(仁淀川町)
  - 梶原町産の桜を活用した加工品等の生産・販路の拡大(梶原町)
  - 地元食材を活用した加工品の開発・製造による地産地消・外商の推進(四万十市)
- (2) 削除(廃止) : ▲2件
  - 温泉開発による観光地としての魅力向上(高知市)
  - 須崎市養殖漁業等のさらなる振興(須崎市)
- (3) 統合 : ▲2件
  - 仁淀川町での観光情報の発信強化と受入れ体制の充実(仁淀川町)  
→仁淀川町滞在交流型観光の推進(仁淀川町)へ統合
  - 「黒潮本陣」を核とした滞在型観光推進(中土佐町)  
→中土佐町の地域資源を活用した体験型・滞在型観光の推進(中土佐町)へ統合

## 地域アクションプラン数 R4年度 218件 → R5年度 217件 (▲1)

	R4年度 (第4期Ver.3)	R5年度 (第4期Ver.4)				AP数
	AP数 R5.1月時点	増減				
		追加	削除	統合	計	
安芸	30					30
物部川	24					24
高知市	22		▲1		▲1	21
嶺北	24					24
仁淀川	34	1		▲1		34
高幡	40	1	▲1	▲1	▲1	39
幡多	44	1			1	45
合計	218	3	▲2	▲2	▲1	217

○地域産業クラスタープロジェクト R4年度 18件 → R5年度 17件 (▲1)

# 嶺北地域アクションプラン項目（第4期計画Ver.3（R4年度））と

No.	現在(令和4年度)	本山町	大豊町	土佐町	大川村
		14	13	11	9
1	れいほくブランドの園芸産地の維持	●	●	●	●
2	ブランド米「天空の郷」の販売促進	●			
3	直販所「さくら市」を核とした地域活性化	●			
4	銀不老による地域活性化の取り組み		●		
5	本山町施設園芸生産拡大クラスタープロジェクト	●			
6	㈱大豊ゆとりファームを核とした地域産業を持続化させる取り組み		●		
7	土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興	●	●	●	
8	土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化				●
9	嶺北地域における林業クラスター化の取り組み	●	●	●	●
10	れいほくスケルトン(嶺北材の邸別販売)をはじめとする嶺北材の促進	●	●	●	●
11	嶺北地域内のシソ・ユズの活用による地域振興	●			
12	嶺北地域の特産品販路拡大への支援	●	●	●	●
13	ばうむ合同会社による地域資源(木材・米)活用の取り組み	●			
14	碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開		●		
15	嶺北材を生かしたオリジナル木工品の製造・販売による地域活性化			●	
16	嶺北地域で140年続く酒蔵の地産外商を核とした地域の活性化			●	
17	ジビエを活用した新たな商品開発と販路拡大		●		
18	嶺北地域の連携による交流人口の拡大	●	●	●	●
19	嶺北広域観光アウトドアの里づくり	●	●	●	●
20	嶺北地域における山岳観光の推進				●
21	さめうら湖の活用をはじめとしたスポーツ・ツーリズムの振興	●	●	●	●
22	集落活動センター西峯におけるビジネス創出による地域活性化の取り組み		●		
23	集落活動センターいしはらの里による地域活性化の取り組み			●	
24	集落活動センター汗見川による地域活性化の取り組み	●			

第4期計画Ver. 4 (R5年度) の対比表

【嶺北地域】

本山町	大豊町	土佐町	大川村	No.	改定案(令和5年度)
14	13	11	9		
●	●	●	●	1	れいほくブランドの園芸産地の維持
●				2	ブランド米「天空の郷」の販売促進
●				3	直販所「さくら市」を核とした地域活性化
	●			4	銀不老による地域活性化の取り組み
●				5	本山町施設園芸生産拡大クラスタープロジェクト
	●			6	㈱大豊ゆとりファームを核とした地域産業を持続化させる取り組み
●	●	●		7	土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興
			●	8	土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化
●	●	●	●	9	嶺北地域における林業クラスター化の取り組み
●	●	●	●	10	れいほくスケルトン(嶺北材の邸別販売)をはじめとする嶺北材の促進
●				11	嶺北地域内のシソ・ユズの活用による地域振興
●	●	●	●	12	嶺北地域の特産品販路拡大への支援
●				13	ばうむ合同会社による地域資源(木材・米)活用の取り組み
	●			14	碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開
		●		15	嶺北材を生かしたオリジナル木工品の製造・販売による地域活性化
		●		16	嶺北地域で140年続く酒蔵の地産外商を核とした地域の活性化
	●			17	ジビエを活用した新たな商品開発と販路拡大
●	●	●	●	18	嶺北地域の連携による交流人口の拡大
●	●	●	●	19	嶺北広域観光アウトドアの里づくり
			●	20	嶺北地域における山岳観光の推進
●	●	●	●	21	さめうら湖の活用をはじめとしたスポーツ・ツーリズムの振興
	●			22	集落活動センター西峯におけるビジネス創出による地域活性化の取り組み
		●		23	集落活動センターいしはらの里による地域活性化の取り組み
●				24	集落活動センター汗見川による地域活性化の取り組み

修正前

嶺北地域アクションプラン

分野

農業

AP名 (実施地域)	<b>No.1 れいほくブランドの園芸産地の維持</b> (嶺北地域全域) ※地域産業クラスター関連(本山町施設園芸生産拡大クラスタープロジェクト)
実施主体	◎JA高知県(土長地区・園芸部会、花き部会、コンフィデンスフラワー)、◎大豊とまと生産者、JA高知県(土長地区)、中山間農業複合経営拠点
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	農業で生活できる所得が得られるよう、「れいほく八菜」「れいほく八花」等の収量・品質を向上させ、販売額の増加を目指す。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) JA園芸部販売額	1.7億円 (R元)	1.74億円	1.46億円		1.8億円
(2) JA花き部会・コンフィデンスフラワー販売額	1.3億円 (R元)	1.38億円	1.89億円		1.5億円
(3) 大豊とまと販売額	2,000万円 (R元)	2,356万円	2,264万円		3,000万円

これまでの主な動き

<p><b>&lt;これまでの取り組みの内容&gt;</b></p> <p>◆産地・生産の維持拡大や生産安定に向けた取り組み</p> <p><b>「れいほく八菜」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジョン(増収、担い手の育成)達成に向け、産地提案書の作成と指導農業士の認定</li> <li>・連作に伴う塩類集積・土壌病害対策の実施</li> <li>・増収対策としてpFメーターを目安としたかん水管理の導入</li> <li>・新規有望品目の導入</li> </ul> <p><b>「大豊とまと」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標収量(5t/10a)達成に向けた肥培管理と土壌病害対策</li> <li>・組織活動(現地検討会、研修会、先進地視察調査、有利販売に向けた情報収集)の実施</li> </ul> <p><b>「れいほく八花」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品種登録によるラインナップ増から、新たな販売展開が可能(ノーブル)</li> <li>・商談会での産地紹介、販売店へのPRによる消費者の認知の向上(ノーブル)</li> <li>・標高差を活用したリレー出荷による出荷期間の拡大及び耐暑性品種の検討(オリエンタル系ユリ)</li> <li>・土壌分析による生理障害の回避(オリエンタル系ユリ)</li> <li>・立枯病対策として土壌還元消毒等の実施(トルコギキョウ)</li> </ul>	<p>◆生産の維持と担い手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業受託の推進や就農に向けた支援</li> </ul> <p><b>&lt;主な成果&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆新規就農者の確保(H28～R4.12までの累計) 米ナス2名、甘長トウガラシ3名、ミニトマト5名、花き7名</li> <li>◆新規有望品目の導入 甘長トウガラシ20名、116.3a(R4)</li> <li>◆ノーブル由来の新品種登録：4品種</li> </ul> <p><b>&lt;課題&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業で生活できる所得と担い手の確保</li> <li>・高齢農家の作業受託・事業承継体制の整備</li> <li>・土壌病害の回避と土づくりの推進</li> <li>・収穫作業等での雇用の確保</li> <li>・環境制御技術等(日射比例制御かん水装置、ハウス内温湿度管理)の導入による省力化・高度化の推進</li> <li>・省力的な病害対策技術(イオウ粉剤・くん煙剤)の推進</li> <li>・ノーブルの球根養成</li> <li>・オリエンタル系ユリ等の有望品目・品種選定</li> </ul>
---	--

## 第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
<p><b>◆産地・生産の維持拡大や生産安定に向けた取り組み</b></p>	<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; display: inline-block; border-radius: 10px;">栽培管理の見直し、環境制御・省力化技術の導入</div>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●JA 高知県(土長地区・園芸部会、花き部会、コンフィデンスフラワー)、大豊とまと生産者：                     <ul style="list-style-type: none"> <li>高品質生産・省力化技術(自動天窓、日射比例かん水制御装置、作期の早進化等)の検討・確立</li> <li>環境や状況に対応した塩類集積、土壌病害、高温障害対策等の実践</li> <li>新規対応策の検討</li> <li>オリジナル品種の育成・生産拡大、有望品目・品種の選定・導入(れいほく八花)</li> <li>多様な雇用労力の確保、作業の効率化(カイゼン)</li> <li>PR 販売促進活動の実施(れいほく八花)</li> </ul> </li> <li>●県(農業改良普及所等)：                     <ul style="list-style-type: none"> <li>環境制御・省力化技術、新技術の情報提供、実証ほの運営支援、事業の導入支援</li> <li>JA 営農指導員と連携した栽培管理指導、新規対応策の実証調査</li> <li>オリジナル品種の生産拡大に向けた体制作り(れいほく八花)</li> </ul> </li> </ul>				
<p><b>◆生産の維持と担い手の育成</b></p>	<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; display: inline-block; border-radius: 10px;">生産を維持する労力補完システムの確立</div>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●JA 高知県(土長地区)、中山間農業複合経営拠点：作業受託体制の確立</li> <li>●県(農業改良普及所等)：                     <ul style="list-style-type: none"> <li>作業受託体制の確立に向けた支援</li> </ul> </li> </ul>				
	<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; display: inline-block; border-radius: 10px;">担い手の確保と栽培技術の早期習得及び経営目標の達成</div>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●JA 高知県(土長地区)、中山間農業複合経営拠点：                     <ul style="list-style-type: none"> <li>空ハウス情報等の集約・共有</li> <li>担い手への情報提供、産地提案書の活用</li> <li>栽培技術相談</li> </ul> </li> <li>●県(農業改良普及所等)：                     <ul style="list-style-type: none"> <li>JA 営農指導員と連携した栽培・経営技術指導</li> <li>担い手の栽培・経営状況の把握</li> <li>指導農業士の育成・支援</li> </ul> </li> </ul>				

AP名 (実施地域)	<b>No.1 れいほくブランドの園芸産地の維持</b> (嶺北地域全域) ※地域産業クラスター関連(本山町施設園芸生産拡大クラスタープロジェクト)
実施主体	◎JA高知県(土長地区・園芸部会、花き部会、コンフィデンスフラワー)、◎大豊とまと生産者、JA高知県(土長地区)、中山間農業複合経営拠点
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	農業で生活できる所得が得られるよう、「れいほく八菜」「れいほく八花」等の収量・品質を向上させ、販売額の増加を目指す。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) JA園芸部販売額	1.7億円 (R元)	1.74億円	1.46億円		1.8億円
(2) JA花き部会・コンフィデンスフラワー販売額	1.3億円 (R元)	1.38億円	1.89億円		1.85億円
(3) 大豊とまと販売額	2,000万円 (R元)	2,356万円	2,264万円		3,000万円

これまでの主な動き

<p><b>&lt;これまでの取り組みの内容&gt;</b></p> <p>◆産地・生産の維持拡大や生産安定に向けた取り組み</p> <p>「れいほく八菜」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジョン(増収、担い手の育成)達成に向け、産地提案書の作成と指導農業士の認定</li> <li>・連作に伴う塩類集積・土壌病害対策の実施</li> <li>・増収対策としてpFメーターを目安としたかん水管理の導入</li> <li>・新規有望品目の導入</li> </ul> <p>「大豊とまと」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標収量(5t/10a)達成に向けた肥培管理と土壌病害対策</li> <li>・組織活動(現地検討会、研修会、先進地視察調査、有利販売に向けた情報収集)の実施</li> </ul> <p>「れいほく八花」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品種登録によるラインナップ増から、新たな販売展開が可能(ノーブル)</li> <li>・商談会での産地紹介、販売店へのPRによる消費者の認知の向上(ノーブル)</li> <li>・標高差を活用したリレー出荷による出荷期間の拡大及び耐暑性品種の検討(オリエンタル系ユリ)</li> <li>・土壌分析による生理障害の回避(オリエンタル系ユリ)</li> <li>・立枯病対策として土壌還元消毒等の実施(トルコギキョウ)</li> </ul>	<p>◆生産の維持と担い手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業受託の推進や就農に向けた支援</li> </ul> <p><b>&lt;主な成果&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆新規就農者の確保(H28～R4.12までの累計) 米ナス2名、甘長トウガラシ3名、ミニトマト5名、花き7名</li> <li>◆新規有望品目の導入 甘長トウガラシ20名、116.3a(R4)</li> <li>◆ノーブル由来の新品種登録：4品種</li> </ul> <p><b>&lt;課題&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業で生活できる所得と担い手の確保</li> <li>・高齢農家の作業受託・事業承継体制の整備</li> <li>・土壌病害の回避と土づくりの推進</li> <li>・収穫作業等での雇用の確保</li> <li>・環境制御技術等(日射比例制御かん水装置、ハウス内温湿度管理)の導入による省力化・高度化の推進</li> <li>・省力的な病害対策技術(イオウ粉剤・くん煙剤)の推進</li> <li>・ノーブルの球根養成</li> <li>・オリエンタル系ユリ等の有望品目・品種選定</li> </ul>
--	--

## 第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
<p><b>◆産地・生産の維持拡大や生産安定に向けた取り組み</b></p>	<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; display: inline-block; border-radius: 10px;">栽培管理の見直し、環境制御・省力化技術の導入</div>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●JA 高知県(土長地区・園芸部会、花き部会、コンフィデンスフラワー)、大豊とまと生産者：                     <ul style="list-style-type: none"> <li>高品質生産・省力化技術(自動天窓、日射比例かん水制御装置、作期の早進化等)の検討・確立</li> <li>環境や状況に対応した塩類集積、土壌病害、高温障害対策等の実践</li> <li>新規対応策の検討</li> <li>オリジナル品種の育成・生産拡大、有望品目・品種の選定・導入(れいほく八花)</li> <li>多様な雇用労力の確保、作業の効率化(カイゼン)</li> <li>PR 販売促進活動の実施(れいほく八花)</li> </ul> </li> <li>●県(農業改良普及所等)：                     <ul style="list-style-type: none"> <li>環境制御・省力化技術、新技術の情報提供、実証ほの運営支援、事業の導入支援</li> <li>JA 営農指導員と連携した栽培管理指導、新規対応策の実証調査</li> <li>オリジナル品種の生産拡大に向けた体制作り(れいほく八花)</li> </ul> </li> </ul>				
<p><b>◆生産の維持と担い手の育成</b></p>	<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; display: inline-block; border-radius: 10px;">生産を維持する労力補完システムの確立</div>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●JA 高知県(土長地区)、中山間農業複合経営拠点：作業受託体制の確立</li> <li>●県(農業改良普及所等)：                     <ul style="list-style-type: none"> <li>作業受託体制の確立に向けた支援</li> </ul> </li> </ul>				
	<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; display: inline-block; border-radius: 10px;">担い手の確保と栽培技術の早期習得及び経営目標の達成</div>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●JA 高知県(土長地区)、中山間農業複合経営拠点：                     <ul style="list-style-type: none"> <li>空ハウス情報等の集約・共有</li> <li>担い手への情報提供、産地提案書の活用</li> <li>栽培技術相談</li> </ul> </li> <li>●県(農業改良普及所等)：                     <ul style="list-style-type: none"> <li>JA 営農指導員と連携した栽培・経営技術指導</li> <li>担い手の栽培・経営状況の把握</li> <li>指導農業士の育成・支援</li> </ul> </li> </ul>				

修正前

嶺北地域アクションプラン

分野

商工業

AP名 (実施地域)	No.16 嶺北地域で140年続く酒蔵の地産外商を核とした地域活性化 (土佐町)
実施主体	◎土佐酒造(株)
APへの位置づけ	H30.4月
事業概要	嶺北地域の酒米にこだわった特徴ある日本酒の品質の向上に取り組むとともに国内外へ販路を拡大し、地産外商による農業及び地域の活性化を実現する。併せて旅行会社のツアーや一般観光客の受け入れ等を実施し、交流人口の拡大による地域経済の活性化を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) 売上高	1億5,067万円 (H30)	2億1,470万円	3億351万円		2億2,000万円
(2) 地元産原料米調達量	88t (H30)	100t	140t		125t
(3) 従業者数	15人 (H30)	17人	23人		25人

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆生産性の向上及び販路拡大

- ・新工場及び酒造設備の整備 (H31.3月、R3.11月)  
→H30 産業振興推進総合支援事業費補助金の活用 (事業費1億839万円)  
→R2 新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金の活用 (事業費3千288万円)  
→R4 高知県食品加工施設等整備促進事業費補助金の活用 (事業費1億1320万円)
- ・国内外への販促イベント・商談会への参加(H30～)
- ・作業の効率化及び衛生面の向上のための充填機の導入 (R元)
- ・ものづくり補助金を活用して、商品の品質向上に向けた火入れ機の導入 (R元)

◆地元産原料米の調達拡大

- ・原料(地元酒米)の確保に向けた取り組み(H30～)

◆雇用の創出及び地域経済活性化

- ・旅行会社のツアー及び一般観光客の受入(H30～)

<主な成果>

- ◆海外の日本酒のコンクールにて受賞 (主な受賞歴)
  - ・International Wine Challenge (イギリス)  
スパークリング酒「匠(JOHN)」最高賞受賞(H28)  
桂月 CEL24 純米大吟醸酒 50 金賞受賞(R元)
  - ・Kura Master (フランス)  
桂月吟之夢純米吟醸酒 55 プラチナ賞受賞(H30)  
スパークリング酒「好(Hao)」審査員賞受賞(R元)  
桂月 CEL24 純米大吟醸酒 50 プラチナ賞受賞 (R元)  
桂月 Sake Nature 2019 プラチナ賞受賞 (R2)  
桂月 CEL24 純米大吟醸 50 プラチナ賞受賞(R3)

<課題>

- ・国内外での需要の増加に対応した生産体制の確立
- ・売り上げ規模拡大に伴う社内の体制強化、人材の確保
- ・さらなる売上げの増加に向けた新商品の開発
- ・原材料のさらなる確保

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆生産性の向上 及び販路拡大	商品の充実及び品質の向上				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐酒造(株)：新商品の開発、新工場を活用した商品の製造における衛生面の向上や温度管理の徹底</li> <li>●県（地域本部等）：県関係機関との橋渡し、情報提供</li> </ul>				
	営業活動及び情報発信				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐酒造(株)：国内外でのイベントや各種商談会への参加、飲食店等への個別の営業活動、まると高知での試飲会の定期的な開催、海外の顧客も意識したプロモーションツールの充実</li> <li>●県（地域本部等）：商談会等の紹介、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>				
◆地元産原料米 の調達拡大	地元農家と連携した原料米の調達拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐酒造(株)： 地元の契約農家の確保、各契約農家と調整を進め、地元産原料米の生産の増加、生産者への原料米の品質向上に向けたアドバイスの実施</li> <li>●県（地域本部等）： 県関係機関との橋渡し</li> </ul>				
◆雇用の創出及 び地域経済活性化	雇用の創出				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐酒造(株)： 生産量拡大に伴う雇用の創出、地域外からの移住者の雇用</li> <li>●県（地域本部等）： 関係機関の橋渡し等、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>				
	地域経済活性化に向けた取り組み				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐酒造(株)： 嶺北地域の他の観光素材と組み合わせた旅行会社のツアーや一般観光客向けの酒蔵見学や試飲の実施、さめうら荘をはじめとした地域内の飲食店での取り扱い商品の増加</li> <li>●県（地域本部等）： 関係機関への橋渡し、情報提供、県自然体験キャンペーンサイト等を活用した情報発信</li> </ul>				

AP名 (実施地域)	No.16 嶺北地域で140年続く酒蔵の地産外商を核とした地域活性化 (土佐町)
実施主体	◎土佐酒造(株)
APへの位置づけ	H30.4月
事業概要	嶺北地域の酒米にこだわった特徴ある日本酒の品質の向上に取り組むとともに国内外へ販路を拡大し、地産外商による農業及び地域の活性化を実現する。併せて旅行会社のツアーや一般観光客の受け入れ等を実施し、交流人口の拡大による地域経済の活性化を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) 売上高	1億5,067万円 (H30)	2億1,470万円	3億351万円		3億6,000万円
(2) 地元産原料米調達量	88t (H30)	100t	140t		170t
(3) 従業者数	15人 (H30)	17人	23人		25人

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆生産性の向上及び販路拡大

- ・新工場及び酒造設備の整備 (H31.3月、R3.11月)  
→H30 産業振興推進総合支援事業費補助金の活用 (事業費1億839万円)  
→R2 新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金の活用 (事業費3千288万円)  
→R4 高知県食品加工施設等整備促進事業費補助金の活用 (事業費1億1320万円)
- ・国内外への販促イベント・商談会への参加(H30～)
- ・作業の効率化及び衛生面の向上のための充填機の導入 (R元)
- ・ものづくり補助金を活用して、商品の品質向上に向けた火入れ機の導入 (R元)

◆地元産原料米の調達拡大

- ・原料(地元酒米)の確保に向けた取り組み(H30～)

◆雇用の創出及び地域経済活性化

- ・旅行会社のツアー及び一般観光客の受入(H30～)

<主な成果>

- ◆海外の日本酒のコンクールにて受賞 (主な受賞歴)
  - ・International Wine Challenge (イギリス)  
スパークリング酒「匠(JOHN)」最高賞受賞(H28)  
桂月 CEL24 純米大吟醸酒 50 金賞受賞(R元)
  - ・Kura Master (フランス)  
桂月吟之夢純米吟醸酒 55 プラチナ賞受賞(H30)  
スパークリング酒「好(Hao)」審査員賞受賞(R元)  
桂月 CEL24 純米大吟醸酒 50 プラチナ賞受賞 (R元)  
桂月 Sake Nature 2019 プラチナ賞受賞 (R2)  
桂月 CEL24 純米大吟醸 50 プラチナ賞受賞(R3)

<課題>

- ・国内外での需要の増加に対応した生産体制の確立
- ・売り上げ規模拡大に伴う社内の体制強化、人材の確保
- ・さらなる売上げの増加に向けた新商品の開発
- ・原材料のさらなる確保

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆生産性の向上 及び販路拡大	商品の充実及び品質の向上				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐酒造(株)：新商品の開発、新工場を活用した商品の製造における衛生面の向上や温度管理の徹底</li> <li>●県（地域本部等）：県関係機関との橋渡し、情報提供</li> </ul>				
	営業活動及び情報発信				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐酒造(株)：国内外でのイベントや各種商談会への参加、飲食店等への個別の営業活動、まると高知での試飲会の定期的な開催、海外の顧客も意識したプロモーションツールの充実</li> <li>●県（地域本部等）：商談会等の紹介、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>				
◆地元産原料米 の調達拡大	地元農家と連携した原料米の調達拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐酒造(株)： 地元の契約農家の確保、各契約農家と調整を進め、地元産原料米の生産の増加、生産者への原料米の品質向上に向けたアドバイスの実施</li> <li>●県（地域本部等）： 県関係機関との橋渡し</li> </ul>				
◆雇用の創出及 び地域経済活性化	雇用の創出				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐酒造(株)： 生産量拡大に伴う雇用の創出、地域外からの移住者の雇用</li> <li>●県（地域本部等）： 関係機関の橋渡し等、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>				
	地域経済活性化に向けた取り組み				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐酒造(株)： 嶺北地域の他の観光素材と組み合わせた旅行会社のツアーや一般観光客向けの酒蔵見学や試飲の実施、さめうら荘をはじめとした地域内の飲食店での取り扱い商品の増加</li> <li>●県（地域本部等）： 関係機関への橋渡し、情報提供、県自然体験キャンペーンサイト等を活用した情報発信</li> </ul>				